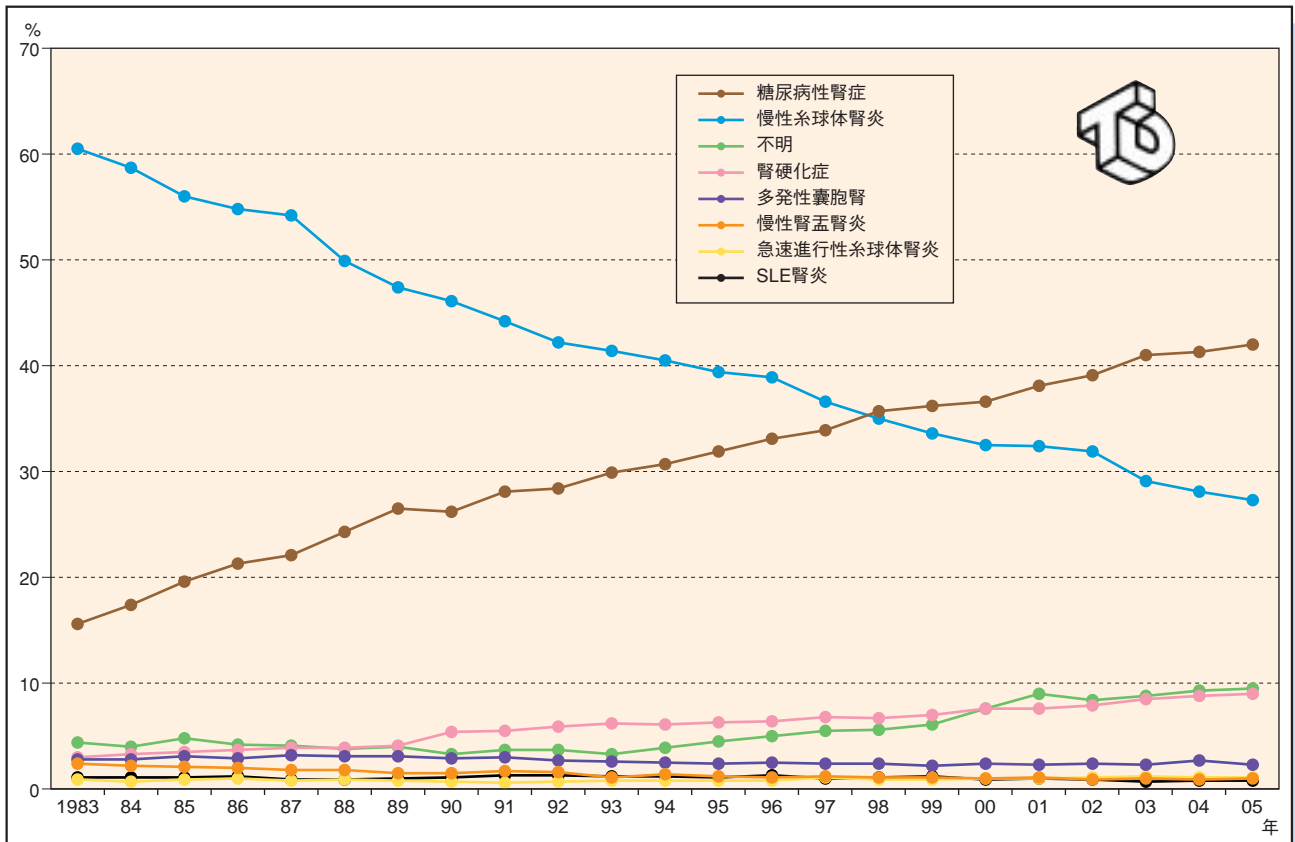


3) 導入患者の現状

(3) 年別透析導入患者の主要原疾患の推移 (図表11)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
糖尿病性腎症	15.6	17.4	19.6	21.3	22.1	24.3	26.5	26.2	28.1	28.4	29.9
慢性糸球体腎炎	60.5	58.7	56.0	54.8	54.2	49.9	47.4	46.1	44.2	42.2	41.4
腎硬化症	3.0	3.3	3.5	3.7	3.9	3.9	4.1	5.4	5.5	5.9	6.2
多発性嚢胞腎	2.8	2.8	3.1	2.9	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	2.7	2.6
慢性腎盂腎炎	2.4	2.2	2.1	2.0	1.8	1.8	1.5	1.5	1.7	1.6	1.1
急速進行性糸球体腎炎	0.9	0.7	0.9	1.0	0.8	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.8
SLE腎炎	1.1	1.1	1.1	1.2	0.9	0.9	1.0	1.1	1.3	1.3	1.2
不明	4.4	4.0	4.8	4.2	4.1	3.8	4.0	3.3	3.7	3.7	3.3

年	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
糖尿病性腎症	30.7	31.9	33.1	33.9	35.7	36.2	36.6	38.1	39.1	41.0	41.3	42.0
慢性糸球体腎炎	40.5	39.4	38.9	36.6	35.0	33.6	32.5	32.4	31.9	29.1	28.1	27.3
腎硬化症	6.1	6.3	6.4	6.8	6.7	7.0	7.6	7.6	7.9	8.5	8.8	9.0
多発性嚢胞腎	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.2	2.4	2.3	2.4	2.3	2.7	2.3
慢性腎盂腎炎	1.4	1.2	1.1	1.2	1.1	1.1	1.0	1.1	0.9	1.0	0.9	1.0
急速進行性糸球体腎炎	0.8	0.8	0.8	1.1	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.2	1.1	1.1
SLE腎炎	1.2	1.1	1.3	1.0	1.1	1.2	0.9	1.0	0.9	0.7	0.8	0.8
不明	3.9	4.5	5.0	5.5	5.6	6.1	7.6	9.0	8.4	8.8	9.3	9.5

解説

年別導入時の原因疾患の推移

1998年より導入の原因疾患として糖尿病による末期腎不全がトップとなり、2005年では42.0%を占めています。糖尿病性腎症による患者数はなお増加が認められ、これに対して慢性糸球体腎炎による患者数の比率は年々減少傾向があり27.3%と第2位です。原因疾患を「不明」と報告いただいた場合に、独立した原疾患として扱ってきませんでした。2005年導入患者において不明が9.5%を占め、この比率は慢性糸球体腎炎に次いで第3番目に位置しています。原因疾患の究明をできる限り行い、報告いただくことを要望します。腎硬化症も、9.0%と着実に増加していることがわかります。多発性嚢胞腎、急速進行性糸球体腎炎、慢性腎盂腎炎、SLE腎炎によるものは例年通りの比率です。